

治療の副作用で「うつ」?

質問 乳がんが再発し、抗がん剤治療を受けています。1カ月ほど前から気分が沈みがちで何事にもやる気が起こらず、外出するのもおっくうになってきました。がんや治療の副作用で「うつ」になることがあると聞いたことがありますが、「うつ」なのでしょうか。



多田 幸雄
徳島大学病院
精神科神経科特任助教

回答 乳がんの再発のショックがきつめやらないまま、抗がん剤治療を受けておられるのではなにかと推察します。精神的にも体力的にも大変な状況だと思えます。「質問の件ですが、まず「うつ」という言葉が何を指しているかが問題になります。最近よく聞かれる言葉ですが、一般的には正常な範囲の気分の落ち込みに使われることが多く、自然に回復に向かいます。

今回の質問は、そういう意味ではなく、気分が落ち込む

精神的な支援が重要



上に何事にもやる気がしない状態が長期間続いているので、正常ではない「うつ状態」のようです。こうした状態は、倦怠感や食欲不振、不眠、睡眠障害などの身体症状、金銭面や介護面などの社会的問題などが併存し、症状が重くなった状態が長期間持続するときは、「うつ病」という疾患が疑われます。

「うつ状態」はがん患者の約30%を占めるといわれており、がん患者と一口にいうのもいろいろな種類(乳がん、大腸がんなど)や病期が、「がん相談支援センター(がんの進行具合)の方がいい」です。がん診療連携拠点です。一般にがんになった病院内に設置することになってきたから、落ち込むのは当たり前、もちろん徳島大学病院前でも判断されやすいことが問題にもあります。先述したさまざまな症状や問題について相談に乗って、専門看護師や臨床心理士による対応や臨床心理士による対応も積極的に行っています。

「うつ病」が疑われる場合、約2%といわれています。この数字をいこうではありません。多いと捉えるか、少ないと捉診や検査などで「うつ病」にえるかは人それぞれですが、罹患してはいないか判断し、必ず「うつ病」に罹患しているかどうかに応じて抗不安薬や抗うつ薬などによる薬物療法もお勧めする方が多いのは確かです。なにごととおっしゃる方も多いうちうち具体的に説明しますので、主治医と相談の上、気軽にご相談していただけたらと思います。(第4土曜掲載)

がんに関する質問は徳島がん対策センター(電話089-634-6442)(平日午後5時～)

接する主治医、看護師に加え、薬剤師、ソーシャルワーカー、理学療法士、管理栄養士、臨床心理士など多職種とセンターのホームページの連携が重要になります。

tip://www.toku-gantai.saku.jp をご覧ください。

気軽に専門医受診して